



さろまげんき王国

保健福祉課保健推進係

Tel 2・1212

データで見る「佐呂間町の健康と医療」

国がすすめている「日本再興戦略」の中で世界最先端の健康立国へむけて、健康寿命の延伸と医療費の適正化が重要なテーマにあげられ、データヘルス計画等の取り組みの強化が求められています。

データヘルス計画とは、健診や医療機関で治療を受けている内容などのデータを活用・分析することで健康課題を明確にし、効果的に生活習慣病を予防する取り組みを行うことをめざした計画です。

今回は、平成30年3月に策定した佐呂間町データヘルス計画におけるデータの分析結果から、課題のひとつである「がん」を中心にお伝えします。

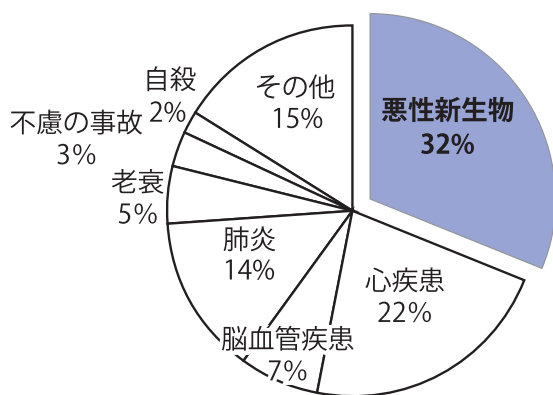
佐呂間町では「がん」による死亡・医療費が高く、要因のひとつとなる喫煙率も高い



●死亡の状況

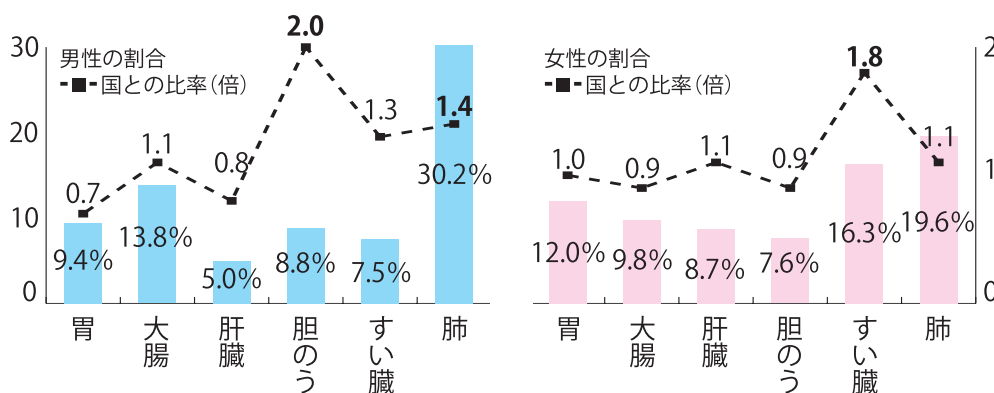
平成19年から10年間の主な死因をみると悪性新生物（がん）が最も多く32%を占めています。【図1】

【図1】主要死因別割合（H19～H28）

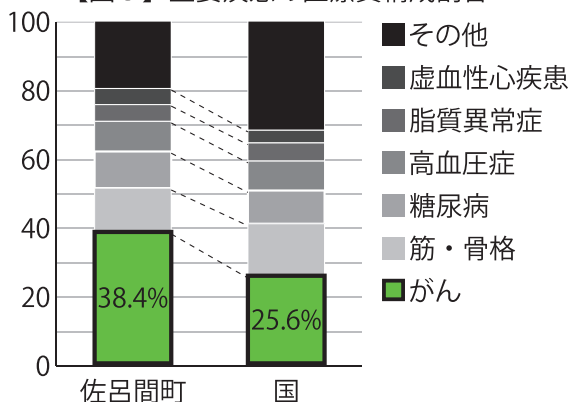


がんの部位別の死亡割合を全国と比べてみると、男性では胆のうがん・肺がん、女性ではすい臓がんが多くなっています。【図2】

【図2】がんの部位別死亡割合



【図3】主要疾患の医療費構成割合

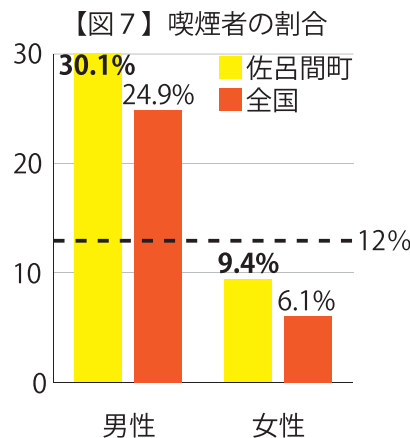
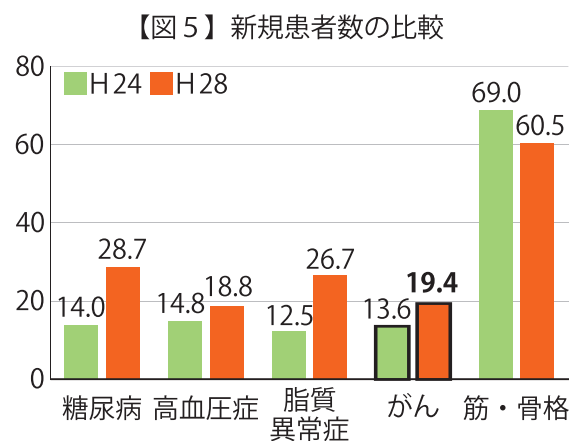
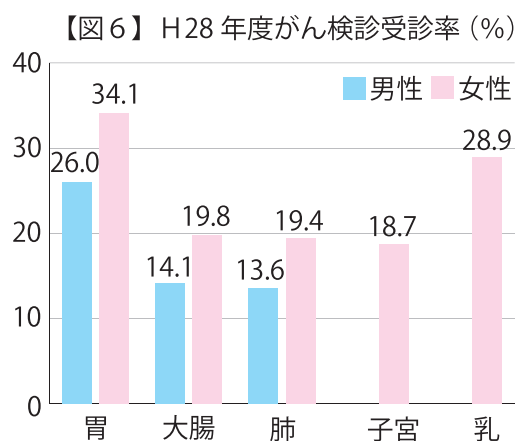
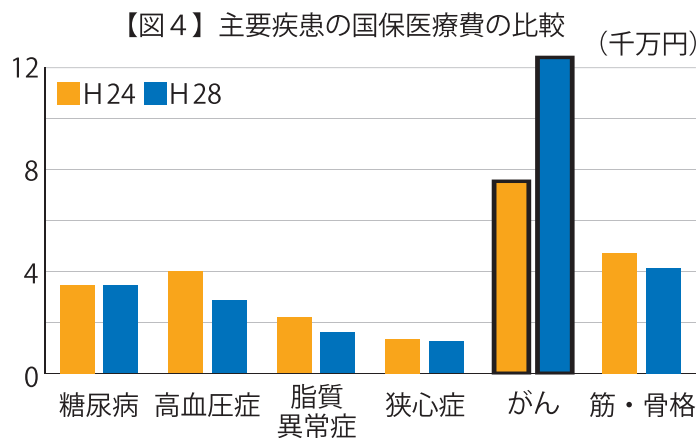


●医療費の状況

平成28年度の医療費の主要疾患別の割合をみると、国と比べてもがんにかかる医療費が高く、年々増加傾向です。【図3・図4】

●**新規患者数の状況**
患者千人あたりの新規患者数は4
番目に多く、年々増加の傾向です。
【図5】

●**がん検診の受診状況**
国は40～69歳のがん検診受診率の
目標を50%としています。佐呂間
町の受診率は低く、目標を達成す
るには受診者を今よりも男女とも
300～400人増やす必要があります。
【図6】



●**喫煙の状況**
2022年までに国では喫煙率を12%とすることを目標にしています。平成28年度の佐呂間町の健診受診者における喫煙者の割合をみると、全国と比べて高くなっています。
【図7】

一人ひとりの検査結果や病院受診等の状況が「佐呂間町の健康データ」として反映されます。佐呂間町の健康度の向上は、皆さんの健康づくりにむけた取り組み・協力があつてこそです。まずは検診を受ける、禁煙をするなど、できることから取り組んでみましょう。

佐呂間町の各種検診日程は健康カレンダーに掲載しています。健康カレンダーをご覧ください、ぜひ受診してください、お待ちしております。



佐呂間町ではがんによる死亡が最も多く、がんの新規患者数や医療費は増加の傾向となっています。特に入院医療費が高く、手術や終末期医療での入院が考えられます。

がん死亡者の減少のためには、がんの早期発見・早期治療が大切であり、受診率向上のための取り組みが必要です。

また、佐呂間町では喫煙がリスク要因となっている肺がん・すい臓がんの死亡率が特に高く、喫煙率も高い状況となっていることから、喫煙率の減少と受動喫煙防止をはかるための取り組みが必要です。